

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名						担当 部課	部課コード	900500	TEL	2921-1083
事業コード		浄水場整備事業(耐震補強事業)					給水管理課			
900503										
開始年度 平成 21 年度 → 終了年度 年度						グループ	浄水管理室			

②事業の概要	事業の種類	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ 法定受託＋附加			根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市水道事業長期構想				水道法、水道施設の技術的基準を定める省令	
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	章	街づくり	節	上水道	基本方針	安全な水の安定供給
	事業開始の背景	浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	配水池等を耐震化する。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	10,000 m ³
	配水池等(13池・総有効容量 92,000m ³)				平成 27 年度	10,000 m ³
	事業の具体的な内容及び実施方法					
浄水場内配水池等の耐震診断を順次行い、その結果に基づき耐震補強設計および耐震補強工事を実施する。						

④経費	＜会計種別＞		企業会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)	
	予算現額			234,090	262,332	134,892	
	決 算 (見込み含む)			217,080	249,264		
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員) (人) (人) (人) (人)					※「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 の内訳となっています。	
	正規職員人件費		5.20 人	45,349	5.40 人		46,764
	事業費合計			262,429	296,028		
	財源内訳	一般財源		262,429	296,028		0
国・県支出金							
その他()							

⑤実績	活動実績	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標
		耐震診断	想定地震に対する安全性の確認	池		0	0	1	
		耐震補強設計	耐震診断に基づく実施設計	池		0	0	1	
		耐震補強工事	耐震補強設計に基づく工事	池		1	1	1	

⑥成果	成果指標	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28目標値	将来目標
		配水池の耐震化率	(耐震対策の施された配水池有効容量 ÷ 対象配水池有効容量) × 100	m ³	目標値	10,000	10,000	10,000	
					実績	10,000	10,000	☒ 「実績」 拡大図る ☐ 「実績」 縮小図る	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			%	達成率	100	100	↑どちらかを チェックしてください

⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)		(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析	
	東部浄水場配水池3号耐震補強工事を実施し、10,000m ³ の耐震化が完了した。		計画どおり実施されている。 全体耐震化率46.7%(6池43,000m ³ /13池92,000m ³)平成27年度現在。	

⑧評価	評価	☒ 継続 ☐ 終了	方 向 性	事業実施方法 (複数選択可)	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 改善・効率化 ☒ 現状維持 ☐ その他	理由	耐震診断の結果に基づき耐震強度の足りない配水池の耐震化を図る。
		次年度予算		☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持	理由	配水池の耐震化には、概ね同額の費用が必要となる。	
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性		
	水道事業の基幹施設である配水池の耐震対策を施すことにより、災害に強く安全で安定した配水を持続する。				配水池の耐震化を、引き続き計画的に推進する。		
	評価日	H28.7.22		評価者職氏名	給水管理課長 肥沼 宏至		

⑨環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	廃棄物の排出 公害(大気汚染・騒音)の発生	規制を受ける環境法令等 緊急事態	無
						無